

救急医療情報用紙(表面)

記入例

このシートは救急患者をスムーズに病院へ搬送するためのものです。

表面(1枚目)は施設入所時等に事前に記入していただき、裏面(2枚目)は救急車到着までに記入しましょう。

記入日 令和 〇 年 △ 月 □ 日

氏名	ふりがな つし たつお 津市 辰生 (男・女)		
生年月日	大・昭・平・令 15 年 △ 月 △ 日 (84 歳)		
住所	津市 久居本町〇〇 藤堂老人施設		
連絡先電話番号	自宅(施設) 059-■■■■-■■■■ 血液型 A 型 (Rh+)・不明		
	携帯 090-◇◇◇◇-◇◇◇◇ アレルギー (有) (青魚)・無		
健康保険証 生活保護受給 情報	後期高齢 〇〇 ×××	介護度	要支援 1・2
			要介護 1・2・3・4・5
緊急連絡先	氏名	住所	電話番号
	① 津市 一男 続柄 (長男)	静岡県〇〇市	自宅 053-△△△-△△△△ 携帯 080-◇◇◇◇-◇◇◇◇
	② 津市 すず 続柄 (妻)	津市久居本町〇〇	自宅 059-□□□-□□□□ 携帯
かかりつけの 医療機関	医療機関・事業所名	主治医・担当者	電話番号
	シロモチ医院	シロモチ 医師	059-***-****
	藤堂デイサービスセンター		059-xxx-xxxx
利用中の 訪問医療 介護事業所など			
担当ケアマネジャー	居宅介護支援事業所 ゴー	江姫 ケアマネジャー	080-****-****
治療中の病気の 経過	75歳 心筋梗塞で冠動脈にステント挿入し、内服治療開始 82歳 動作時に息苦しくなるようになり、うっ血性心不全で2週間入院、退院後も内服治療を続けているが、時々薬を飲み忘れるていた 83歳 心不全の悪化と誤嚥性肺炎を繰り返しADLが低下、施設入所となる		
服用中の薬 (お薬手帳や説明書で代用可)	(服用中なら☑)☑ 血液をサラサラにする薬		
既往歴・手術歴 (罹患年齢・治療方法など)	25歳 虫垂炎 手術 45歳 高血圧 内服治療開始 63歳 胆石胆嚢炎 手術 75歳 心筋梗塞 ステント挿入 82歳 うっ血性心不全 入院治療 82-83歳 誤嚥性肺炎 3回		
普段の移動方法	☐自立 ☑杖歩行 ☐歩行器 ☐車椅子 ☐ストレッチャー ☐その他(
その他	● 延命治療、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の話をした相手はいますか ない・ある (誰と 江姫ケアマネジャー) ● 特記事項(本人の意向など) 「つらい思いをしてまで延命治療を受けたくない」と日頃から言っている		
本人以外が 記入の場合	記入者名	本人との関係	記入者所属(事業所名等)
	江姫	ケアマネジャー	居宅介護事業所 ゴー

裏面(2枚目) 救急車要請時の記入欄もあります

津市在宅療養支援センター作成 2024.3改訂

裏面 2025.3改訂

救急車要請時 記入・チェック項目(裏面)

コロナワクチン接種歴

5 回 (最終接種日 ○ 月 △ 日)

救急要請時の
状況

※救急車を要請した理由、バイタルサイン、最終の服薬・食事時間など 記載可能な限りで可
・救急車の要請に至ったきっかけ(複数可)

本人の希望 家族の希望 主治医の指示 施設の判断

・いつから？最後に普段通りだったのは？

昨夜21時頃から「だるい、疲れた」と言って21:30に就寝

朝、妻から長男にいつもと様子が違うと電話で相談、長男が様子を見に行く

・どのような症状？

いつも起きる7時頃に起きてこず、意識がもうろうとしている

話しかけても、「あー、うん」しか返事をしない

体が熱く、熱を測ると38.5度あった

・どのくらい続いている？

いつから発熱しているかは不明

起こそうとしても起きれず力が入らない、元気がないので救急車を呼んだ

バイタルサイン

脈拍	95	回/分
血圧	160/98	mmHg
呼吸数	24	回/分
SpO ₂	94	%
体温	38.5	℃

最終食事・水分摂取時刻

18

時頃

・ 不明

最終服薬時刻

18

時頃

・ 不明

救急車の同乗・追走

可

・ 否

付添者名

妻

※以下は施設入所中の場合、施設職員が記入

施設内 インフルエンザ感染者	<input type="checkbox"/> なし	・ <input type="checkbox"/> あり
施設内 新型コロナ感染者	<input type="checkbox"/> なし	・ <input type="checkbox"/> あり

《救急隊到着までに協力していただきたいこと》

- 情報用紙を記入する
- 搬送希望、又は搬送可能な病院があれば電話し、搬送許可を得る
- サマリー、服薬情報のコピーを準備する
- 家族へ救急搬送の理由を説明する
- 心停止、呼吸停止の場合はDNARの確認をする
※主治医及び家族に連絡して延命処置を行うかどうかを確認する

《救急隊到着後に協力していただきたいこと》

- 救急現場まで救急隊を誘導する
- 1番状況をよく理解している1名が救急隊に状況を説明する
- 可能であれば救急車に同乗又は追走する